

かがやき



かがやく町民のつどい

試食会のようす

2008年12月6日(土)

主な内容

- ・黒崎幸恵さん寄稿
- ・研修会
- ・つどい
- ・日本女性会議2008 とやま
- ・女性模擬議会
- ・活動のようす

本年度は年間を通して「食」について考え、学ぼうというテーマを決めました。

研修会、町民のつどい、反省会において「食」を行いました。皆で作って、皆で食べることの楽しみは、体験型学習の冴えたるものだと思います。また「地産地消」と言うとき、地元生産者の労苦にも思いを馳せらせるべきだと思います。

連絡協議会のメンバーが、学びを深め、それぞれの会において、また地域において、役立つ情報を発信したいと思っています。

年間テーマ「食」

活動の様子

日本赤十字奉仕団

人として、優しさを認識し心、知識、実技を、実践する家庭看護法、救急法の講習会、非常食の炊き出し、等。いつあるかわからない、介護への、心の準備と致しまして介護法の実技等。

全国で、自然災害に見舞われ、大きな被害に、あわれ



活動内容

活動場所	日赤病院内
活動日	毎月第一金曜日
活動時間	九時～十一時三十分
活動内容	ガーゼたたみ等
祖母井地区	4月 5月 10月 1月
水橋地区	7月 8月 11月 2月
南高地区	6月 9月 12月 3月

た方々への、救護活動の一部として、義援金を差し上げております。

昨年は、「かがやく町民のつどい」で、非常食の作り方を実演し、皆様に、試食して頂きました。「大変美味かった」と、大好評をえる事が、出来ました。

今後も、人の輪、心の和、を大切に、健康で、豊かな心でつなぐ幸せな、活動を続けて参りたく、存じます。

(委員長 菅原 キン)

商工会女性部活動報告



部員研修会にて

平成20年 7月3～4日	部員研修 関東ブロック商工会女性部会交流会 於 新潟朱鷺メッセ会場
平成20年 9月11日	郡内商工会女性部会合同研修会を益子町に於いて開催し交流を深めました。
平成20年 10月8日	生活なるほどリフレッシュ事業「食」をテーマで梨のケーキ作りを楽しみました。
平成20年 11月9日	町民祭の協力
平成21年 1月	新年会
2月	役員研修 3年間のご苦労様の思いを込めて宝塚観劇
3月	会報「ひまわり第20号」発行します。

以上一年間の事業です。

(部長 小堀 光子)

編集委員

川又 和子 佐藤 幸枝
小林 功子 菅原 キン
小堀 光子 廣木 初江

ご協力いただきました皆様
有難うございました。
(委員一同)

黒崎 幸恵さん

表彰おめでとうございます

法務大臣表彰について

黒崎 幸恵

人権擁護委員法務大臣表彰式は、平成二十年十月一日、法務省大会議室において行われました。当日は私も出席し、表彰式のと記念撮影があり、皇居特別参観をいたし、思い



中央が黒崎さんです



法務省正面玄関前・向かって左

を新たにしました。人権擁護委員の委嘱を受けてからこれまで、人権について関心をもってもらえるような啓発活動や人権相談等に携わってまいりました。「人権」はだれにとっても身近で大切なもの、日常の思いやりの心によって守られるものだと思います。今後も、地域住民の人権が守られるような活動を行っていききたいと思っています。

総会

五月十七日(土)
町民会館研修室

豊田町長をはじめ、来賓の方々をお迎えして、総会が開催されました。議長には、更正保護女性会の関年子さんが選出されました。

総会後は平成十九年十月に広島で開催された日本女性会議に参加した廣木初江の報告会がありました。



平成20年度芳賀町女性団体連絡協議会役員

役職	氏名	団体名
会長	廣木 初江	とちぎつばさの会芳賀支部
副会長	小林 功子	JAはが野芳賀地区女性会
副会長	岡田 順子	芳賀町ひばりの会
書記	荒井三津子	日本赤十字奉仕団
"	穂山 典子	事務 局
会計	大根田理子	芳賀町くらしの会
"	小堀 光子	芳賀町商工会女性部
理事	田中ハマ子	"
"	豊田美恵子	"
"	船生 華子	JAはが野芳賀地区女性会
"	梅澤ノブ子	"
"	小筆 公子	芳賀町ひばりの会
"	川又 和子	"
"	佐藤 幸枝	芳賀町くらしの会
"	酒井 由理	"
"	斎藤 恭子	農村生活研究グループ
"	小林 早苗	"
"	稲葉アサノ	日本赤十字奉仕団
"	綱川みね子	とちぎつばさの会芳賀支部
"	黒崎 幸恵	"
監事	小林 峰子	農村生活研究グループ
"	菅原 キン	日本赤十字奉仕団

研修会

研修会に参加して

食育について考える

酒井 由理

九月二日、生涯学習センターにて、地産地消の食材で手早く簡単な料理方法を学び、手作りの良さ・食と健康について考える研修が行われました。調理実習では、ちらし寿司・豆腐の肉巻き照り焼き・カボチャのきんぴら・簡単蒸しパンなどを作りました。食材の水切りをするのにペーパータオルを使用したり、余分な油をペーパータオルでふき取ったり、普段はしていない調理方法を学ぶことができて良かったです。

調理実習後に、試食をして終わりというわけではなく、健康福祉課の鈴木理恵さんを講師にお招きして、食育に関する学習会を行いました。食



事バランスガイドの説明や、毎日の食事の中でのアドバイスもいただきました。芳賀町には、新鮮な野菜だけでなく、おいしい果物もたくさんあるので、とりすぎに注意して下さいというお話もありました。食事をとりすぎてしまった時は、次の日は少し減らすなどしていただければ大丈夫ですということでした。私自身、食事バランスをあまり気にしていなかったのですが、考え

調理実習内容(メニュー)

カボチャのきんぴら

夏向きさっぱりチラシ

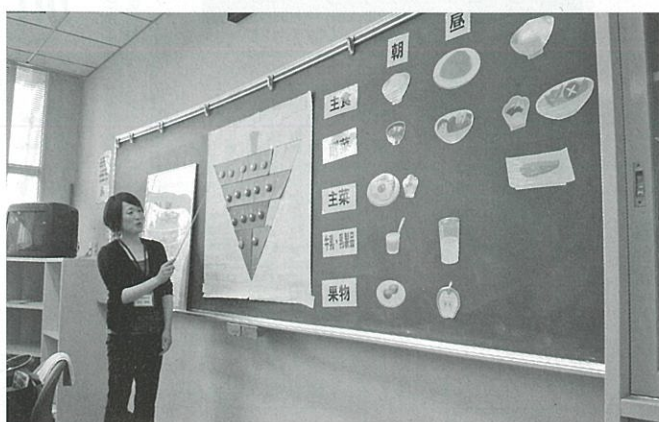


簡単蒸しパン

豆腐の肉巻き照り焼き

ながら買い物や調理をするようになりました。

午後からは、健康福祉課の小林しげ子さんを講師にお招きして認知症サポーター講座の講話をしていただきました。認知症は、若い人でもなってしまう可能性がある病気なので、全員が真剣に聞いていました。家族が認知症になってしまった時に役に立ったり、



外出した時に、認知症の方に対する対応ができるようになったり、できたらいなと思いました。芳賀町の町民が認知症を理解して、認知症の方でも住みやすい町になったらすてきだと思っています。私にとって、たくさんの方と学ぶことができた有意義な一日でした。研修で学んだことを、活かしていけるようにがんばりたいです。

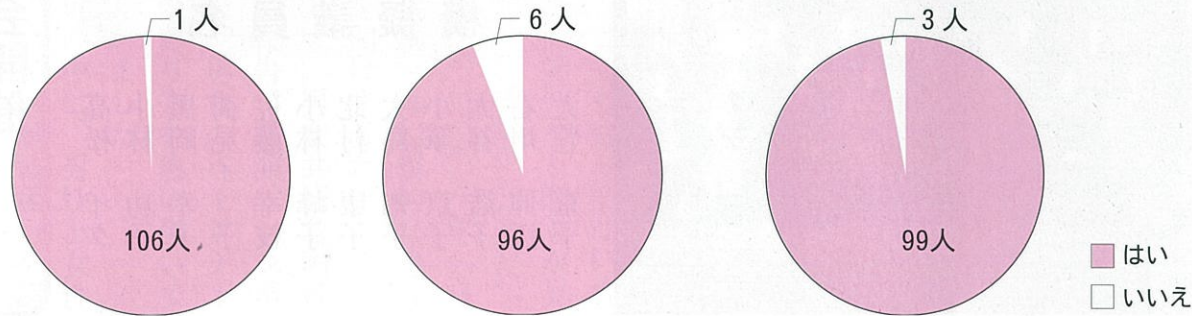


- 来場者**
- ・手軽に作れそう。
 - ・味が薄くてヘルシーである。
 - ・どれもおいしかった。
 - ・もっとレシピがほしい。
 - ・嫌いな食材でも食べられた。
 - ・目新しい料理で参考になった。
- 関係者**
- ・地産地消をアピールできた。
 - ・今までの「つどい」とは違った良さを再確認できた。
 - ・料理を保温できれば良かった。

アンケート結果から

平成20年度「かがやく町民のつどい」来場者アンケート結果

- 問1 試食料理は参考になったか 問2 地産地の食材を心掛けて食べているか 問3 郷土料理や次世代に残したい料理を家庭で作るか



一つは食べ物の安全性を判断する食選能力を身に付けること。二つめは食を通じた絆を大切にすること。感謝の気持ちを持ち食卓でコミュニケーションをとることが一般常識を育てることになるそうです。三つめは食糧の自給率を上げることが大切だと言うことです。これらは、自ら意識して行動に移すことから始まるというお話でした。

皆様からの感想を紹介させていただきます。

（50才代 女性）

自給率を上げるのは一人一人の自覚が大切である。

（60才代 男性）

残飯を少なくし、残った物は肥料に利用する。

（60才代 女性）

この他にも沢山のご意見ご感想をいただきました。ご協力ありがとうございました。



講師 服部 幸應

人間力を育む「食育」のすすめ

後援…芳賀町女性団体連絡協議会
開催日 平成20年12月6日(土)

芳賀町生涯学習講演会開催

食育は大切だがもっと早い時期から行うのが良い。

（50才代 男性）

今の人達は食べ物を粗末にしすぎる。地域の行事や伝承料理等を教えたり、小さいうちから手伝わせ食わさせて食に関心を持たせる事が大事だ。（60才代 男性）

家族揃って食事をすることは大変良いことだ。皆の健康やマナー、感謝の気持ちや命をいただく事、心の安心など話せ家族の絆も深まり大切な事である。

（60才代 男性）

残飯を少なくし、残った物は肥料に利用する。

（50才代 女性）

自給率を上げるのは一人一人の自覚が大切である。

（60才代 女性）

この他にも沢山のご意見ご感想をいただきました。ご協力ありがとうございました。

開催日 平成20年12月6日(土)
場所 芳賀町民会館

第8回 かがやく町民のつどい



芳賀町女性団体連絡協議会の

地元の食材を利用した 試食会



今年度の町民のつどいは「食」をテーマに地元新鮮な食材を利用して、試食会を開催いたしました。各団体が考え調理した料理を来場者に試食していただき好評を得ました。服部幸應先生からもお褒めの言葉をいただき、新聞各社からも取材に見え大成功のうちに終える事ができました。

参加団体

- 芳賀町商工会女性部…芳賀産梨入り手づくりケーキ
- JAはが野女性会…芳賀産大豆のジューシーおから
- 芳賀町ひばりの会…生産量日本一栃木産にらと芳賀産コシヒカリのおやき
- 芳賀町くらしの会…芳賀産梨のシャリシャリゼリー
- 農村生活研究グループ…採りたて野菜のけんちん汁
- 日本赤十字奉仕団…生産量日本一栃木産かんぴょうのごま酢あえ
- とちぎつばさの会芳賀支部…芳賀産大豆の手づくり豆腐



(1) 2008年(平成20年)12月19日 金曜日

とちぎ朝日
毎月第1・第2・第3・第4金曜日 194,359部発行 第649号

好評「地産地消料理」

芳賀町女性団体連絡協議会が試食会



特産の梨や大豆など利用
「給食に加えたい」

芳賀町女性団体連絡協議会(広木初江会長)は、地産地消を推進し、地元の食材を利用した試食会を開催した。梨や大豆、にらなどを使った「けんちん汁」や「おやき」などを出し、来場者から好評だった。

第五回 芳賀町女性模擬議会議開催

模擬議会議長 荷見イツ子

第五回芳賀町女性模擬議会議は町長さんを始め、生涯学習課その他多くの方々のご指導により一月二十八日無事終了することができました。

十二名の模擬議員は模擬議会議に向け学習会が行われました。まず議員の心得・各課事務事業説明・質問内容の検討会・議会傍聴と進められました。安全安心な町との願いから、食の安全・教育・健康等、女性の視点にたった質問、又一方では、芳賀工業団地企業誘致・地域ブランドの勧め・交通機関改善など幅広い分野の質問や要望等が出され町執行部へと伝わった喜びを感じることができました。この貴重な体験は私達の参画意識の大きな一歩となり大変良い機会でありました。

模擬議員名

高松	伊
小林	功子
黒崎	幸子
荷見	イツ子
佐藤	幸枝
小林	峰子
北村	康子
大島	知子
小筆	京子
大谷	浩子
石川	伸江
大萱	京子



一般質問事項

- ・学童保育について
- ・婦人科検診について
- ・芳賀工業団地の未利用地について
- ・心の教育について
- ・学校給食の民間委託について
- ・保育園の民営化について
- ・町民祭について
- ・学校給食の取組みについて
- ・地域ブランドの進捗状況について
- ・子ども医療費の現物支給について
- ・ひばりタクシー及び公共交通機関の利用改善について
- ・農作物加工所建設への援助について
- ・学校給食の地産地消について



模擬議会議に参加して

稲毛田 佐藤 幸枝

「女性模擬議員なんてとても私には出来ない」、「これは特別な方がやるんだ」と言う思いでいましたが、芳賀町に住んで十九年、模擬議員とはいえ、直接行政の長に質問し答弁してもらええる機会は何もないという思いに変わりました。他の模擬議員の女性ならではの質問を聞くうち、皆さんの真剣さに緊張感が増して来ましたが町長・教育長・課長さん方が真剣に答弁して下さい、つががなく終了出来終ってみればやって良かったと思えました。

終了後、昼食を兼ねての懇談で緊張が一気に解れました。



大会テーマ

煌く人とひと、連なる峰々へ

日本女性会議 2008とやま

JAPAN WOMEN'S CONFERENCE IN TOYAMA 2008



西高橋 大根田和子 東高橋 小林 峰子

2008年10月17日(金)・18日(土) 【主催】 日本女性会議2008とやま実行委員会・富山市



「越中おわら風の盆」は栃木と富山を結ぶ大切な架け橋です。八十年前、現在の歌詞にした小杉放菴の力は偉大なものです。

胡弓の奏でる甘く切ない音色、独特の節廻しと踊りが見事に合った情緒豊かな味わい、静から動に、二〇〇八年「日本女性会議」は幻想的な世界から幕を開けました。

主テーマ「男女共同参画社会」基調報告、講演、シンポジウムと、男女のパートナーシップのあり方を熱い想いで語ってくれました。

この世の中に、男性と女性がいいて、お互いがお互いを認め合い、絆を深め、豊かに支

分科会

1 子育て	8 ワーク・ライフ・バランス
2 食	9 政策決定における男女共同参画
3 性・性差	10 科学
4 歴史	11 豊かな地域づくり
5 福祉・介護と超高齢社会	12 健康
6 国際社会とメディアの役割	13 くらしと環境
7 女性と表現	

え合う社会を確立することが最も大切です。

ワークライフバランスⅡ仕事と生活の調和が随所に出て来ました。少子高齢化社会の中で、生きて、働いて、家庭、地域等々で、自分なりのバランスで行う事が出来るのか、益々悪化する社会の中で、一人ひとりが望む生き方ができる社会の実現が可能なのか、



原点に戻って「男女共同参画社会」の実現を目指して、各々の場で考え直したいと心から思いました。

初めて参加した「日本女性会議」全国から二千五百人が集った「とやま大会」女性のパワーに圧倒された二日間、この力を芳賀町に持ち帰って、性差のない、一人の人間として誰もが活躍できる社会実現のために頑張りたいと思いました。結果した女性の力程、強いものではありません。

(大根田和子)